

3歳児 保育指導案

尾道市立木ノ庄東幼稚園

- 1 日時 令和元年11月13日(水)
- 2 場所 保育室, 園庭, わくわく広場
- 3 学級 3歳児 いちご組 19名(男児9名 女児10名)
- 4 幼児の姿と教師の願い

(1) 幼児の姿

① クラス全体の子供の姿

身支度などで「もう〇〇できたよ」「服着替えてくるね」とできることを喜んで伝えるようになってくるなど自信につながっている。排泄が自立したことを喜び「トイレ行ってくるね」と教師に嬉しそうに伝える姿が見られる。自信が付き遊びでも教師や友達と一緒に遊ぶことに心地よさを感じている。教師に「〇〇したい」と思いを伝える姿も見られるなど、色々な事をやってみたいと思うようになってきている。

友達がしていることに興味をもって一緒にパーティーをしたり、動物園に行った経験から動物園を大型積み木で作ったりして、イメージしながら友達と一緒に遊ぶことが楽しいと感じている。その中で言葉での簡単なやりとりが増えてきており、遊びが広がってきている。一方で、「〇〇君が〇〇した」など教師に伝えることも増えており友達同士のトラブルも増えてきている。

② 遊びにおける子供の姿(本日の遊びに至るまでの経過)

運動会で踊った踊りを教師や友達と一緒にステージで踊って遊ぶことを楽しんでいる。好きなおばけや乗り物の曲をかけるとなりきって歌いながら踊り、体を動かす楽しさを感じている。また、教師や友達とやりとりをしたり、「レタスの炒め物」「お味噌汁」と草花を使ってイメージし、ごちそう作りやジュース作りをしたりして遊んでいる。秋になり園の裏山から園庭にドングリが落ち見つけて遊ぶようになってきた。そのドングリを使ってケーキやごちそうを作って遊ぶようになってきた。大型積み木で家を作り、パーティーをしたり、お屋さんごっこをしたりするなどごっこ遊びを楽しんでいる。その中で「おすすめのケーキは何ですか?」「イチゴケーキが美味しいですよ」「ホットケーキも作りたい」と教師や友達と言葉でやりとりする姿が増えてきた。製作コーナーで、色々な素材を使って作ったお寿司作りも始まった。秋の自然物を唐揚げやポテトに見立てたりきって遊ぶことを楽しんでいる。

(2) 教師の願い

身の回りのことが自分ででき、排泄の自立ができるようになってきたことから自信がついているので安心して過ごせるようにしていきたい。

踊りや鬼ごっこなど体を動かすことを喜んでしているので遊びながら体を動かす楽しさを感じてほしい。

レストランやパーティーごっこ遊びを通して言葉のやりとりが増えており、友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさや友達と一緒に考えたりやりとりしたりしながら遊びを進める面白さを味わってほしい。また、自分の思いを伝えることや教師や友達の話聞くことの大切さも知らせたい。

園で見つけたドングリや友達が持ってきてくれた紅葉の葉など秋の自然物に興味をもって関わっている。その中で今までしていた遊びにドングリや枯葉や木の実を取り入れてごちそうやジュースを作って見立てながら秋の自然物を遊びに取り入れる面白さを味わってほしい。